

## お寺のちからでデジタルデバイド解消を

お寺の“檀家”や神社の“氏子”は、古来からの地域コミュニティのひとつであり、強い結びつきを持った組織です。

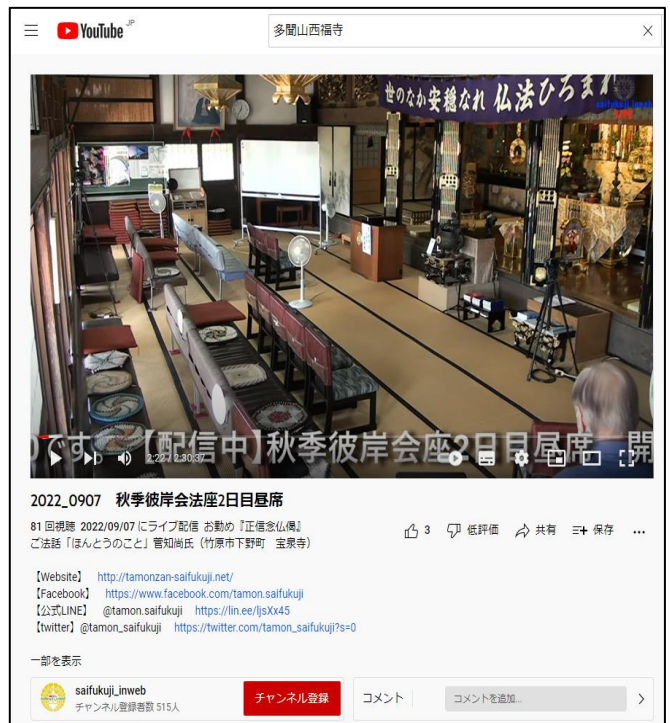
近年は、世帯構成の単世代化や地域人口の減少などにより1寺社あたりの檀家・氏子数は減少傾向にあり、その維持は寺社の存続に影響を与えるほどの課題となってきました。そんな中で、法要や講、その他地域行事や経営そのものにデジタルを導入し、お寺の役割をDX化しようと奮闘される住職の皆さまもいらっしゃいます。

東広島市にある浄土真宗本願寺派多聞山西福寺の根来暁住職は、当協議会とNTTドコモ、ドコモショップ宮内店との共同開催により、住職向けスマートフォン教室を開催しました。お寺のDXの実現を目指して、その前段となる住職のデジタル知識向上を目的としたもので、次のステップでは檀家の皆さんを対象としたスマートフォン教室を参加された住職のお寺で実施し、高齢者のデジタルデバイド解消にも一役買いたいと考えております。

将来的にはスマートフォンを活用して、檀家相互のコミュニケーション活性化や遠く離れた家族に向けた遠隔法要など、新しいサービスを提供することによりお寺の新たな役割の創出を目指します。



住職向けスマートフォン教室の様相  
(2022年6月)  
於：浄土真宗  
本願寺派広島別院



根来住職の取り組みの一つであるお寺行事のYoutube配信